

# センター方式

調理業務が一元化され、  
管理運営に係る労力が軽減される

給食を作る人が見えなくなる

7000食に拡大した場合、  
栄養士配置校が削減され、  
地場産物の利用が難しくなる  
「食育」の学校間格差が拡大する

トラブルが起きた場合は、  
7000人分の給食が一度に止まる

万が一食中毒が起きた場合、  
被害は拡大

アレルギー対応はほぼ不可能

PFI方式の資金調達は、  
市の起債金利の2倍の銀行融資となり  
財政面でも負担増に？

岡山市はこれまで、学校の校舎や立地条件などによって「自校方式」が困難な場合に、「センター方式」による学校給食の提供を行ってきました。

お互いのメリット・デメリットを踏まえ、子どもにとって最善の方法を選択する必要があるのではないのでしょうか。



岡山市は、老朽化している岡山学校給食センター(中区赤田)の移転建替計画を示しました。

現在は5つの中学校に約2500食を配送していますが、今回示された計画では、約3倍の7000食を調理可能な巨大調理場を建設するものです。

# 7000食の 学校給食調理場は 必要ですか？

一方で、拡大する「4500食」分については何ら計画を示していません。

仮に建設候補地のひとつ「海吉地区」から“30分圏内”とした場合では、7~8の自校方式の学校を廃止するものです。

岡山市の特色ある学校給食は、栄養士を配置した自校方式を中心に築き上げられてきました。

何の方針も無く、単なる“集約化”で本当に良いのでしょうか？

岡山市の学校給食をみんなで良くする会 (2020.01)

# 自校方式

自分たちが触れた食材が給食になる  
食材の作り手がわかる

給食をつくる人、食べる人、  
お互いの顔が見える

匂いも含めた“五感”で食べる  
できたての温かい給食で食欲がわく

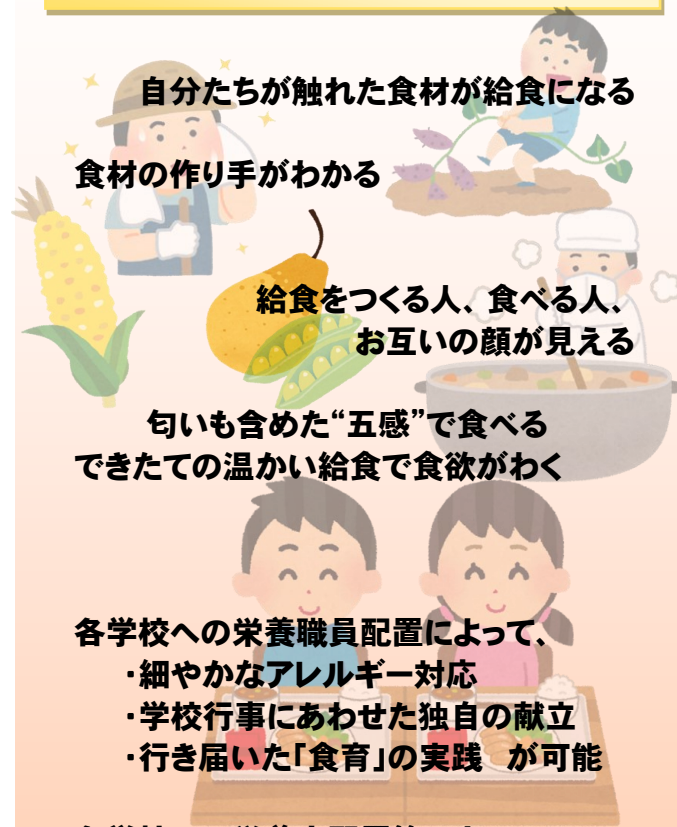
各学校への栄養職員配置によって、  
・細やかなアレルギー対応  
・学校行事にあわせた独自の献立  
・行き届いた「食育」の実践 が可能

各学校への栄養士配置等によって  
人件費はかさむ

災害が相次ぐ中、子どもたちの「食」を確保することは、地域の復旧にとっても大きな力となります。

西日本豪雨で被災した平島小学校では、「弁当持参」による対応も検討されましたが、教職員の頑張りによって2学期の始業に合わせて通常どおりの給食を提供することができています。

仮に調理場の復旧が遅れても、近隣に自校方式の学校があれば対応も検討できるなど、“リスクの細分化”が可能です。



# 岡山市 学校給食の 実施状況

「令和元年度第1回岡山市学校給食運営検討委員会資料」を基に集計

【2019.05.01時点の生徒児童数別】			自校方式		センター方式		親子方式		計		直営計		民間委託計		
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	
小学校	91	37,280	直営	51	22,558	0	0	0	0	51	22,558	51	22,558	76	31,725
			民間委託	20	11,412	18	3,055	2	255	40	14,722				
中学校	36	17,003	直営	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			民間委託	23	12,752	12	4,127	1	124	36	17,003				
計	127	54,283		94	46,722	30	7,182	3	379	127	54,283				

※後楽館中、緑が丘中、平井小分教室は給食は実施していない。 ※「校数」=学校数、「人数」=児童生徒数

少子化傾向にあるのは事実で、この3年間をみても岡山市全体の「延べ食数」は減少しています。

「直営」では、民間委託への移行もあり「延べ食数」は5%弱減少していますが、経費は0.5%の減少にとどまっています。

## 【調理に関する経費の推移】

		H28年度	H29年度	H30年度	増加率	
民間委託	自校調理場	学校数	44	45	45	102.3%
		児童生徒数(人)	24,257	24,867	24,662	101.7%
		委託料(万円)	58,782	64,929	63,551	108.1%
	給食センター(8センター)	学校数	30	30	30	100.0%
		児童生徒数(人)	7,562	7,429	7,289	96.4%
		委託料(万円)	21,147	22,486	23,297	110.2%
委託料計(万円)		79,929	87,415	88,848	111.2%	
延べ食数(万食)		602.9	613.9	604.6	100.3%	
直営	調理員人件費等(万円)	92,453	92,867	92,012	99.5%	
	延べ食数(万食)	465.2	447.1	445.1	95.7%	

▶「民間委託」では、100.3%と「延べ食数」はほぼ横ばいにもかかわらず、委託料は111.2%と、1割超も増えています。

民間委託の中でも、自校方式は108.1%の増加ですが、センター方式では110.2%となっており、延べ食数(児童生徒数)の推移と照らしても、センター方式の方が非効率であるといえます。

岡山市の学校給食をみんなで良くする会  
連絡先 岡山市職員労働組合気付  
Tel 086-232-9714 Mail kyushoku@ocwu.jp

子どもたちの未来のために、食育を充実させより安全安心な学校給食を提供できる環境をつくるために、みなさんの声を岡山市政に届けていきましょう!